

【平和への権利と脱原発】

福島での原発被害が起こってから、日本人は原発による放射能被害を敏感に知るようになりました。人々が平和に生きていく上では、放射能と共存することはできません。住んでいた住居を追いやられ、健康の被害にも直結した原発による被害を考えることで、平和的に暮らすことを問い直して、平和への権利にも取り入れて行きましょう。

(諮問委員会草案10条参照)